



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G2425号)

令和6年8月26日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

底びき網 (トロール調査) における大型クラゲの入網について

令和6年8月5～6日および20～22日に、兵庫県漁業調査船たじま(199トン)により、但馬沖から隠岐北方にかけて実施したトロール調査により、大型クラゲの入網が多数見られましたのでお知らせします。

1. 調査方法

着底トロール網(袋網16節、袖先間隔約27m、網口高さ約3m、3ノット30分(約1.5マイル) 曳き。

2. 調査結果

調査を実施した全18定点で1網当たり90～325kgの入網がありました(表1、図1)。傘径は甲板上で広げた状態で20-90cmでした。

2009年など過去の大量発生年では、西の海域ほど入網量が多くなる傾向がありましたが(図2、3)今年は今但馬沖にかけてどこでも入網が認められています。

3. 現状認識について

今年は今日本海への来遊がこれまでより早く、既に日本海へかなりの量の大型クラゲが流入していると考えられます。現在、但馬沿岸の定置網では入網が少ないこと、今回表層にはクラゲが見られなかったにも関わらずトロール網で多量の入網が認められたことから、現在大型クラゲは中底層付近に多く分布していると推察されます。

駆け廻し網と異なり、トロール網の特性上(2そうびきも)、投・揚網途中に中層でもクラゲが幾らか入網します。その比率は不明ですが、今期は底びきでも注意が必要なことは間違いなさそうです。

表1 2024年底びき漁期前調査における大型クラゲ入網状況

月日	曳網開始時刻	I/I7	操業点番号	平均曳網水深	曳網中心位置				海区番号	表面水温(°C)	海底水温(°C)	大型クラゲ		
					北緯		東経					個体数	重量(kg)	傘径(cm)
					度	分	度	分						
8/6	7:13	但馬沖	K350	349	36	6.3	134	41.7	8086	28.9	0.6	34	160	20-62
"	5:29		KT300	312	36	6.8	134	47.5	"	29.1	1.2	36	230	40-70
"	9:07		K300	303	36	0.8	134	37.2	8089	29.2	0.7	31	140	40-70
8/5	17:50		KH300	306	35	56.6	134	26.7	8191	29.4	1.1	61	325	40-75
"	15:36		K270	272	35	56.4	134	35.6	8097	29.9	1.3	30	210	30-77
"	13:40		K240	236	35	51.7	134	37.7	"	30.0	2.0	30	160	23-74
"	12:03	K210	211	35	48.4	134	35.9	8098	30.9	2.5	37	245	23-72	
"	10:30	K180	184	35	46.5	134	35.9	"	30.2	4.3	31	232	35-70	
8/20	12:49	大山沖	C240	239	35	55.7	133	57.3	8291	29.6	2.5	50	295	30-80
"	14:39		C210	209	35	55.3	133	51.6	"	30.1	2.8	40	260	30-70
"	16:31		C180(190)	192	35	54.3	133	45.4	8294	29.7	2.8	15	90	-70
8/22	9:51	隠岐東方	E240	244	36	18.7	133	49.0	8285	29.3	1.8	40	250	20-90
"	8:14		E210	210	36	16.7	133	44.8	"	29.2	2.8	25	160	25-80
"	6:29		E180	186	36	13.9	133	38.0	8288	29.0	4.3	19	185	30-80
8/21	13:04	隠岐北方	D240	237	36	46.1	133	9.2	8378	28.9	1.6	14	105	30-80
"	10:56		D210	207	36	41.1	133	6.1	"	29.4	1.9	46	310	30-80
"	8:59		D190	189	36	32.2	133	1.5	8379	29.5	2.7	34	295	30-70
"	6:40		DW190	186	36	21.6	132	51.2	8481	30.0	3.1	23	165	30-80

(次ページへ続く)

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター (担当：大谷・中村)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684 email：nourinc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm



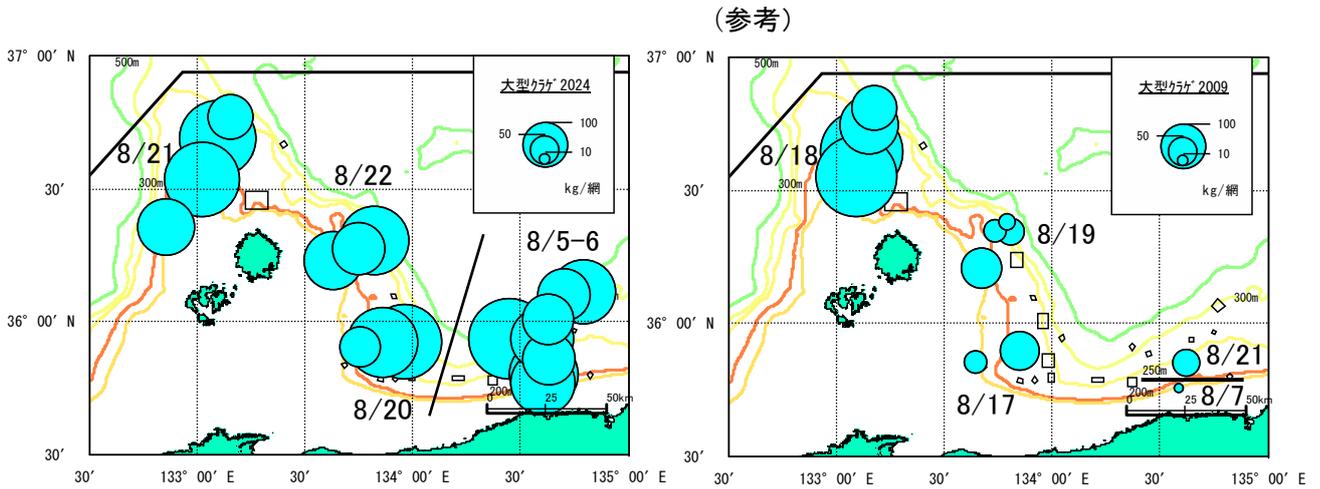


図1 大型クラゲ入網量分布(2024年)

図2 大型クラゲ入網量分布(2009年)

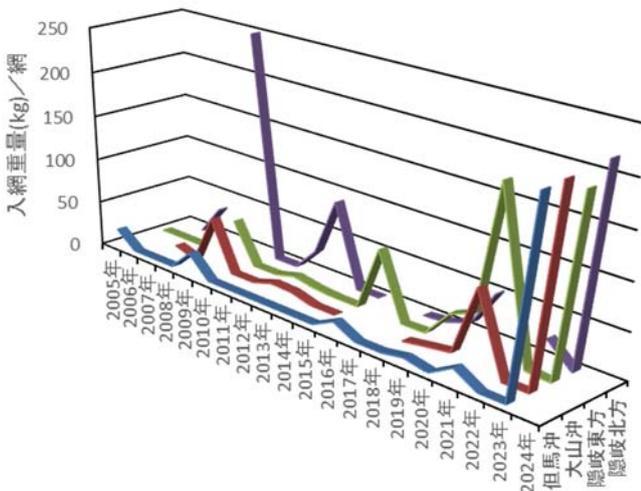


図3 海域別平均入網重量の年推移



図4 大型クラゲの平均的な入網状況(KT300、230kg)

4. 大型クラゲ情報提供サイト

大型クラゲの出現状況は刻々と変化しますので、以下のサイト等を参考に情報収集に努めて下さい。

- ・但馬水産技術センター海況情報(兵庫県但馬水産技術センター)

<https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/kaikyou/>

- ・大型クラゲ出現情報(JAFIC:漁業情報サービスセンター)

<https://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>

- ・大型クラゲ関連情報(水産研究・教育機構 水産資源研究所)

https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/kurage.html

5. 対処法

網に対策を施される場合は、各漁網メーカーが、ノウハウをお持ちですのでご相談下さい。

各自で改良を施される場合は以下の資料を参考にして下さい。

- ・漁具改良マニュアル -大型クラゲ対策のために- 第4版(水産総合研究センター)

<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr21/210828/kurage4.pdf>

簡便法として、奥袖の網地に縦に切り込みを入れ、後縁をロープで補強するだけで、袖網上を転がって来るクラゲの8割(全体では4割)を排出できることが確かめられています(図5)。緊急の場合、遊泳力のある魚狙いの時に限り、お試し下さい。

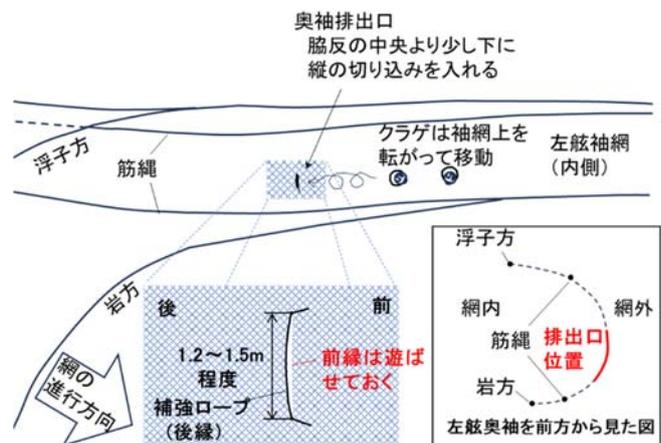


図5 奥袖からクラゲを排出する簡便法(カニ網では使用不可)